

第4回新塩尻市立平出博物館基本構想検討委員会議事概要

- 1 日 時 令和3年4月20日（火）午後2時～4時
- 2 場 所 塩尻総合文化センター 教養室
- 3 出席者 委員12名、事務局
- 4 議事内容

(1) 第3回検討委員会の議事概要についての報告と確認

(2) 基本テーマについて

継続検討案件となっていた基本テーマについて討議を行い、「交流」をキーコンセプトに「人・地域・歴史を結び 未来へつなぐ」とすることを確認した。

【主な意見等】

- ・昔から塩尻市は交通の結節点だとよく言われるので、「交流」を基本的な考えとするのがよい。
- ・考古学的にみても、「交流」というキーワードは塩尻の特徴をよく表現している。
- ・博物館は単に古いものを収集・保管・展示するのではなく、未来をつくっていくということが一番大事な視点である。「交流」を通して未来をつくっていくという意味をもたせるためにも、「未来」という言葉が入っていた方がよい。
- ・短いセンテンスで豊かなイメージを表現しきることが必要。
- ・新しい博物館の対象分野は「人々の営みとその風土」となっているが、風土の部分表現しきれぬテーマになるかが課題である。
- ・「人やモノが行き交う要衝の地」が塩尻の特徴であるが、人だけでなく「モノ」が重要な要素である。
- ・文化には自然の恵みも関わってくるので、そこを含んだ表現が望ましい。
- ・「人・地域・歴史」であれば、モノも入ってくる。自然環境が人の営みをつくり、人が歴史をつくるという意味では、自然環境や風土もこの言葉に全て入っているだろうと思う。それらを「結ぶ」という言葉で、「人と人」「人と地域」「人と歴史」「地域と地域」「過去と現在」など様々な交流のイメージが表現できる。

(3) 整備について

新しい博物館のあり方等を踏まえ、施設整備エリアについて検討を行い、具体的な整備位置は「基本計画」において定めることを確認した。

【主な意見等】

- ・遺跡公園との一体的な利用が可能で、利便性の優れた場所がよい。
- ・博物館がつくられることによって、よい風景になることが望ましい。

(4) 新しい博物館の機能と施設要件について

「新しい博物館の機能と施設要件について」の説明と備えるべき機能と施設概要について討議を行い、具体的な施設構成については「基本計画」において定めることを確認した。

【主な意見等】

- ・建物を一時的に造るだけでなく、ランニングコストの問題等があるので、規模は市の財政状況によるところも大きいと思うが、既存施設を活用するのであれば、そういった施設との役割分担、すみ分けを明確にした上で、必要とする用途に応じた構成・面積を積み上げて規模の算出をしていってほしい。
- ・埋蔵文化財の整理作業は面積を必要とする。どこを切り離して、既存施設をかつようするかということを基本計画でしっかりやれば定めることが必要である。
- ・新しい博物館の「つなぐ」「つたえる」「いかす」「つくる」それぞれの機能を横に連動させる意識を持つことが肝要である。
- ・性別や年代を問わず幅広い方たちに来て、学んでいただく場とするために、解説を無理なく理解しやすくするとともに、実際にやってみることで得られるものが、子供の成長期にとってとても重要なので、体験には力を入れていただきたい。
- ・車椅子やベビーカーを使用する場合、立ち回りしやすいだけのスペースが必要になる。「みんなの博物館」であるので、そういった視点は基本計画でも欠かさないようにしてほしい。
- ・事業等のソフトの面がハードによって制限されないような施設をつくることが重要である。

(5) 博物館の管理運営について

事業方針を踏まえ、新しい博物館の管理運営について検討し、具体的な事項は「基本計画」で定めることを確認した。

【主な意見等】

- ・国立の美術館・博物館であっても、入館料は運営費の10%程度にとどまる。地域の博物館であれば、その割合はもっと低いはずなので無料化を検討してみてもよい。
- ・博物館と同様にお金がかかる図書館は、どこに行っても無料である。市民が図書館を利用することで、文化が醸成され、市がよくなっていくだろうということが理念としてあるはず。これは博物館の理念にも当てはまるので、思い切って入館料の無料化を検討することを検討委員会の総意として推したい。

(6) その他

【主な意見等】

- ・MLA連携という言葉があるが、博物館・図書館・公民館は、つながりを意識的にもっていくことが必要である。
- ・新しい博物館は、決して塩尻市だけのものであってはならないだろうと思う。松本市や安曇野市など周辺の自治体とも連携しながら、広域的に動かなければ事業はもちろん観光面でも成果につながっていかない。
- ・「地域資源」の「資源」という言葉に対して、とても違和感がある。例えば文化財や地域文化を支える要素などを、観光資源や社会資源の「資源」と同じ言葉で捉えてよいのかどうか。この点については、再度整理をお願いする。